

糖尿病内分泌内科

■小見 理恵子 糖尿病内分泌内科部長

日本内科学会認定医，日本糖尿病学会専門医，
日本医師会認定産業医

■田中 麻美（健康管理センター医長兼務）

日本内科学会認定医，日本糖尿病学会専門医

■中川 佳子（総合内科兼務）

日本内科学会認定医，
日本内科学会認定総合内科専門医

■三澤 晴雄

（湘南藤沢徳洲会病院 内分泌・糖尿病科兼務）

■高橋 正典（非常勤）

日本内科学会認定医，日本糖尿病学会専門医，
日本循環器学会専門医，日本医師会認定産業医，
日本睡眠学会専門医，
日本医師会認定健康スポーツ医，
日本温泉気候物理医学会認定温泉療法医

■大岡 愛子（非常勤）

日本内科学会認定医，日本糖尿病学会専門医，
日本医師会認定産業医

■浜野 久美子（非常勤）

日本内科学会認定医，日本糖尿病学会専門医，
日本糖尿病学会研修指導医，
日本内分泌学会専門医，日本内分泌学会研修指導医，
日本抗加齢医学会専門医

2014年度 活動状況

展望

①標準的な糖尿病 内分泌代謝疾患に対する医療の
提供

- ・地域医療連携および院内各科よりのご紹介患者を含め教育入院7泊8日を引き続き実施。病棟ではフットアセスメントを入院患者全員に運用し，すみやかなケア，処置の実施，専門科受診などにつなげる役割を果たす。

- ・糖尿病療養指導士（CDEJ）（手塚奈央子）による療養指導看護師外来。外来インスリン・GLP1製剤導入，心理面を含めた療養指導，さらにフットケア外来などを行い，質の高い糖尿病診療を継続。
- ・療養指導連絡会議を定期的に開催し，糖尿病治療に携わる各職種（医師，薬剤師，看護師，管理栄養士，理学療法士，検査技師，CRC）の連携を強化，教育入院や外来教室の見直しを行う。
- ・CDEJとして看護師手塚奈央子，薬剤師斉藤佳苗，CRC麻生圭子，鈴木章子，管理栄養士岩井菜穂子，須釜典子，検査技師伏見佳菜子，理学療法士根本敬，野口貴子が活躍。2014年度はCDEJ認定試験に薬剤師桃井歩，看護師松井美奈が合格，チーム医療として専門性を発揮。
- ・月1回土曜日の外来糖尿病教室を引き続き実施。週末を利用した短期の教育入院としても対応。
- ・病診連携（DM2 システム）については，引き続き推進の方向で，教育入院終了された方，治療安定された方については積極的に地域への逆紹介を行う。また逆紹介後1年目に病診連携室を通じてフォローアップ案内状を郵送し，希望者にDM2外来枠においてフォローアップを行う。今後も地域医療連携は推進していく予定である。
- ・他科入院患者の血糖管理についても入院患者のアウトカム（転帰，入院日数など）に寄与すべく対応。

②先進的医療への取り組み

- ・CGMS（持続血糖モニター）は症例数を重ね妊娠糖尿病や不安定糖尿病やインスリン療法の見直しに有用性を発揮。
- ・血糖変動の大きい1型糖尿病患者などには，積極的にCSII（持続皮下インスリン注入療法）の導入を行う。

③臨床研究

厚生労働省主管の糖尿病血管合併症予防のための戦略的プロジェクト研究実施施設J-DOIT3に参加，2006年7月より研究開始，2014年3月に8年目をむかえ順調に推移，研究計画の変更による期間延長に伴い，参加登録者に同意をいただき継続観察中である。

臨床治験については積極的に行い，糖尿病領域における新薬(SGLT2薬，DPP4阻害薬，GLP-1製剤など)の使用経験を通じて新しい糖尿病治療に関する研鑽を深めた。

鎌倉地域の寺社(鎌倉大仏，大船観音，鶴岡八幡，長谷寺)をシンボルカラーのブルーにライトアップするイベントをとり行った。当科においては8年目にあたる2014年もひきつづき活動を展開。長谷寺においては当院スタッフによる医療相談，血糖・HbA1c測定などを行い，参加者は950名以上に上る大盛況であった。

診療実績

年間診療実績

外来	9,587件
入院	53件
糖尿病療養指導	757件 (初回150名)
外来自己注射導入(インスリン・GLP-1関連薬)	47件
外来糖尿病教室	34名
電話相談	30件

学術業績

(1) 学会発表

1. 高橋正典：睡眠呼吸障害の血糖変動に及ぼす影響—CGMSによる検討。第57回日本糖尿病学会，熊本，2014，5。

(2) 講演・シンポジウム

1. 小見理恵子：湘南糖尿病update，座長，2014，7。
2. 田中麻美：湘南糖尿病update，座長，2014，7。

その他

世界糖尿病デーイベント 2014年11月16日

2006年12月，国連により11月14日を「世界糖尿病デー」と策定され，初の国内活動が2007年11月14日，